

おもしろ算数②⑤ (4～6ねんせい)

(このページは、^{ページ}直接入力できません。そのまま見るか、^{みる}いんさつして^{つかって}使ってね !!)

小学校4～6年生のみなさん、こんにちは。

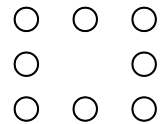
おもしろさんすう②⑤では、「^{ごいし}碁石の^{すう}数」の^{もんだい}問題です。

それでは、^{もんだい}問題です。



【^{もんだい}問題 1】

^{みぎ}右の^ず図のように、^{しろい}白い碁石を^{ならべて}並べて^{せいほうけい}正方形を^{つくります}作ります。

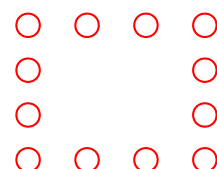


^{1へん}1辺が^{ごいし}碁石^{3こ}3個のときは、^{ぜんぶ}全部で^{8こ}8個の^{ごいし}碁石が必要に

なります。

^{へん}1辺が^{4こ}4個のときは、^{ぜんぶ}全部で^{なんこ}何個の^{ごいし}碁石が必要になるでしょうか。

答え. 12個の碁石が必要



では、^{つぎ} ^{もんだい} 次の問題です。

(もんだい)
【問題2】

(もんだい) ^{ごいし} ^{ばめん} ^{へん} ^{10こ} ^{ぜんぶ} ^{なんこ} ^{ごいし}
【問題1】の基石の場面で、1辺が10個のときは、全部で何個の基石が
^{ひつよう}
必要になるでしょうか。

答え. 36個

式①. $(10-1) \times 4 = 36$

式②. $10 \times 2 + (10-2) \times 2 = 36$

さらに、^{つぎ} ^{もんだい} 次の問題です。

(もんだい)
【問題3】

^{へん} ^{しかくこ} ^{ぜんぶ} ^{なんこ} ^{ごいし} ^{ひつよう}
1辺が□個のときは、全部で何個の基石が必要になるでしょうか。
^{しかく} ^{つかったしき} ^{あらわしましょう}
□を使った式で表しましょう。

答え. 式①. $(\square-1) \times 4$

式②. $\square \times 2 + (\square-2) \times 2$

□を使った式に表されれば、1辺が20個でも、100個でも答えが求められますね。

素晴らしいです。算数博士になれますね。